

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	し尿処理システム国際普及推進事業費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者	浄化槽推進室長 高澤 哲也	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室				
会計区分	一般会計		政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-6 浄化槽の整備によるし尿及び雑排水の適正な処理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本の浄化槽やし尿処理施設など、日本発の優れたし尿処理技術の国際普及を図り、2015年までに衛生施設(トイレ)を継続的に利用できない人々の割合を半減するという国連ミレニアム開発目標の達成に寄与するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外のし尿処理に関する関係者を招き、衛生概念やし尿処理の技術に関する国際ワークショップを開催し、日本の経験と技術の発信、途上国における法令整備状況や課題、官民連携の先進的な取組等の知見を共有し、ネットワークを構築する。 ・各国研究者と協同して現地に適したし尿処理技術の開発、実地での利用を通じた維持管理上の課題整理を行うとともに、官民連携した技術の定着の手法を検討する。 ・国際普及の取組を継続するため、国内産業の持続的発展の視点も含め、国内の産官学の関係者が連携することが必要であることから、関係者からなるワーキングチームを構築し、各種事例のケーススタディ、プロジェクト開発の調査検討を行う。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	19	16	15	14	15	
	執行額	19	15	14				
	執行率 (%)	95%	94%	93%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	国際的な知識・技術の普及については定量的な成果目標の設定が困難である		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際調査、検討会及びワーキンググループ実施回数		活動実績 (当初見込み)	回	5 (5)	8 (8)	10 (8)	8
			算出根拠	し尿処理システム国際普及推進事業費(14,380千円)／国際調査等開催回数(10回)				
単位当たりコスト	1,438(千円/人)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	14	15					
	計	14	15					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本のし尿処理技術の国際普及を図り、2015年までに衛生施設(トイレ)を継続的に利用できない人々の割合を半減するという国連ミレニアム開発目標の達成に資するため、国が事業を行うものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札により、競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国際調査、検討会及びワーキンググループを円滑に実施することが出来、引き続き不可欠な事業である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	同じ予算でより良い結果に繋げるために、さらに請負者の技術力の向上を促す必要がある。そのためには、なるべく多くの者が入札に参加できるようにし、浄化槽専門家の裾野を広げていきたい。また、環境省からも請負者の技術力の向上のため情報発信を行っていきたい。					
外部有識者の所見						
日本の優れたし尿処理技術を途上国に普及・支援する当該事業は大変重要である。ただし、当該事業を環境省としていつまで実施するかなど、将来計画を明らかにする必要がある。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	当該事業の将来計画を明らかにするとともに、事業内容を見直すなど、事業をより効率的かつ効果的に実施すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	将来計画を明らかにするべく、より質の高い調査結果を確保するため、今年度から総合評価落札方式を導入。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	126	平成23年	118	平成24年	120

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
14百万円

〔業務内容の企画、実施状況の監督〕



【一般競争入札】

A. (公財)日本環境整備教育センター
14百万円

〔し尿処理システム国際普及推進業務の実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公財)日本環境整備教育センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査業務3人	6			
諸謝金	ワーキング8人、検討会5人	1			
旅費	ワーキング8人、検討会5人、海外調査	4			
その他	その他	1			
一般管理費		2			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本環境整備教育センター	し尿処理システム国際普及推進に向けた調査等	14	1	99%